関連法規と国・県の施策

○新潟県基本理念

『一人一人を伸ばす教育 ~一人一人の個性に応 じた、質の高い豊かな教育の推進~』

『明日の佐渡を創る人、世界と共に生きる人の育

- 一人一人の自己実現を目指した教育の推 進』
- ・基本目標1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育 成する教育の推進
- ・基本目標2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の

【家庭・地域・学校が目指す子ども】 夢をもち、ともに生きる相川っ子

教育目標

仁 思いやり深く仲良く伸びる子ども 知 進んで学びよく考える子ども

勇 心身ともに健康でた

重点目標

仁 思いやりの心をもって行動する子ども

知 自ら学び考え合う子ども

勇 体力・健康づくり進んで



豊かな人間性と社会性

- 「明るいあいさつができる」と 答える子どもが8割以上
- 「自分がされてうれしいこと、 喜ぶことを相手にした」と答える 子どもが8割以上
- 1 一人一人の子どもが認め合え る集団づくり
- ○共感的・肯定的な児童理解(観 察•面接•検査)
- ○自己有用感を育む教育活動の工夫
- 2 学校生活を向上させる学級活 動、児童会活動
- ○明るいあいさつができる学校 を目指した取組
- ○互いのよさを認める活動(よい こと金山等)の実施

学ぶ意欲と確かな学力

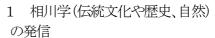
- 「自分の考えや思いを、相手に 分かりやすく伝えようとした」と 答える子どもが8割以上
- 「家庭学習を学年のめあての時 間以上できた」と答える子どもを 8割以上
- 1 「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」 のある授業づくり
- ○子どもに「問い」をもたせる工 夫
- ○自分の考えや思いを伝える力 を向上させる工夫
- 2 基礎的・基本的な知識・技能の定
- ○一人一人の実態に合った家庭 学習の充実
- ○授業のユニバーサル・デザイン

健康でたくましい心身

- 「進んで体を動かしたり、遊ん だりした」と答える子どもが8割 以上
- 「盛り付けられた給食を残さず 食べた」と答える子どもを8割以
- 1 体育授業を中核とした運動習 慣の形成
- ○感覚づくり運動の工夫
- ○めあてをもって体力向上週間 に取り組む工夫
- 2 健康な生活習慣の育成
- ○家庭学習協調習慣とタイアッ プしたメディア・コントロール
- ○家庭と連携した望ましい生活 習慣の育成

地域との絆と地域貢献

- 「相川や佐渡のよさを見付け、 そのよさを伝えることができる」 と答える子どもを8割以上
- 「めあてをもって、行事に参加 した」と答える子どもを8割以上



- ○世界文化遺産登録に向けた貢 献活動の推進(金山ガイド等) ○発信方法の工夫
- 2 相川を舞台とした体験・表現・ 貢献活動の推進
- ○地域住民や保護者と連携した 教育活動の推進
- ○あいさつ運動、相川クリーン作 戦などの貢献活動の充実





特別支援教育 〇一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援

○個別の支援計画、指導計画の作成とその活用、評価、

○ ユネスコスクール (ESD の推進)

SDG s 目標 2 持続可能なまちと地域社会(世界文 化遺産保護、まちづくり、気候変動) SDGs目標17 目標のために協力する



地域とともに歩む学校

家庭・地域との連携 「学校で学び 家庭でしつけ 地域で育む 相川

家 庭

- ・基本的生活習慣の確立(食事・ 睡眠・あいさつ・言葉遣い)
- ・メディア・コントロール(ゲ ームの管理、約束の設定)
- 教育活動の参観、参加、参画
- ・PTA 活動による交流、連携、協

学校運営協議会

- ・家庭、地域を対象とした啓発 活動や懇談
 - 地域学校協働本部
- ・関係団体との連携、調整
- 学校運営への支援
- <青少協、民生委、児童委、商 工会、社会福祉協議会等

関係機関

- ・相川中学校区の各学校、あい かわこども園、稲鯨保育園
- ・佐渡ことば・こころの教室
- ・子ども若者相談センター
- 児童相談所
- 医療機関
- 相川支所

○目指す教職員像

- 仁 「お互いさま」の精神で、互いに認め合う教職員
- 知 よりよい教育を目指して、学び続ける教職員
- 勇 心も体も健康で、いつも明るい教職員
- 志 地域との絆を大切に、地域に働き掛ける教職員

